

発行所 化学工業日報社
本社・〒103-8485 東京都中央区日本橋浜町3-16-8
電話 03-3663-7931(代)

化学工業日報

2017年(平成29年)
4月20日 木曜日
第23553号(日刊、土・日・祝日除く)



理想の原薬求めて

製薬企業の調達戦略
医薬品のサプライチェーンが多様化している。新薬メーカーは長期収収品をCMO(医薬

チェーン

解禁される。製薬企業のMO業界の担当者によるM&A(合併・買収)と、原薬の調達段階から



インド原薬メーカーの倉庫
め、生産ノウハウは自社原薬より汎用性が高い。発薬で優先度は異なると

シコニンとは、ムラサキの根である紫根から抽出される天然成分。紫根およびシコニンは、花岡青洲が処方開発した軟膏「紫雲膏」にも含まれている。
ファルマクリエ神戸はシコニンの再評価を行い、かゆみやアレルギーの原因となるヒスタミン分泌を抑える効果を示し、動物、人への検討を通じて「アレルギー性皮膚

植物由来成分「シコニン」

大阪ソーダ、化粧品原料に

独自技術で使いやすく
大阪ソーダとベンチャーのファルマクリエ神戸は、皮膚障害や育毛に効果があるとされる植物由来成分「シコニン」を化粧品原料として工業化する。大阪ソーダ、富士色素が新たに開発した技術を使い、物質的に不安定で水に溶けないシコニンをβ-グルカンで包み込むことで、安定化、可溶化することに成功。化粧品原料として使いやすくなった。ファルマクリエ神戸が商品を企画した。原料のβ-グルカンを供給する大阪ソーダが総代理店となり販売を担当し、富士色素が量産する。

β-グルカンを活用

この問題を解決したのが、β-グルカンを袋として中にシコニンを入れて水溶解させる大阪ソーダの包装技術と、富士色素の分散技術。これらを組み合わせることでシコニンの水溶性、安定化を実現した。すでに商品化に向けて複数の化粧品メーカーと開発の交渉に入っている。



CPhI Japan 2017 開幕

化学工業日報社など主催
折屈マゼポ
多糖類原料に開発
添加剤が不要
東京大学、北陸先端大学、折屈マゼポ、多糖類原料に開発した発表

韓国に日陸、
日陸の物流センター
物流センターの位置付け

- 2 杭州でカ
4 パテント
6 4年で戦
7 炭素繊維
8 GZO透
10 射出成形
12 川崎と大

「週一」残業
3日にした
出すのは、上田輝
「月曜日はスキルアップデー、水曜日はヘルスデー、金曜日はコミュニケーションデー」と定め
「今は長時間労働がなく、アイディアを推進し、多岐にわたる業務を推進し、社業